



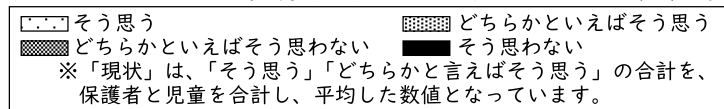
保護者各位

## 学校評価(後期)に寄せられた意見について

富士市立岩松小学校  
校長 中村 俊一

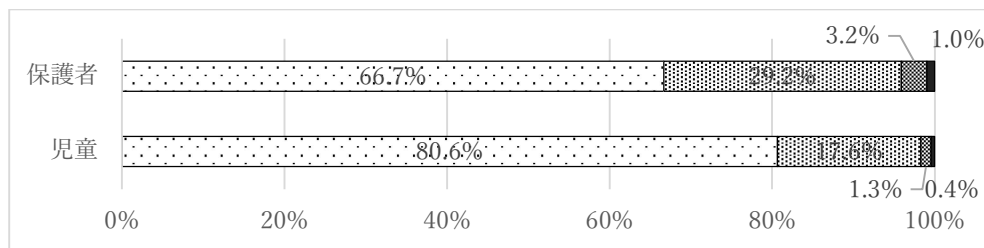
日差しもだんだん暖かみを帯び始め、寒さの中にも春らしさが感じられるようになりました。保護者の皆様には、日頃より岩松小学校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、12月にお問い合わせした「学校評価アンケート」の結果を系統的に分析し、全校に関わるものや、多く寄せられた事項について教職員で話し合い、これまでの教育活動をふり返りました。来年度の学校運営に生かしていきます。



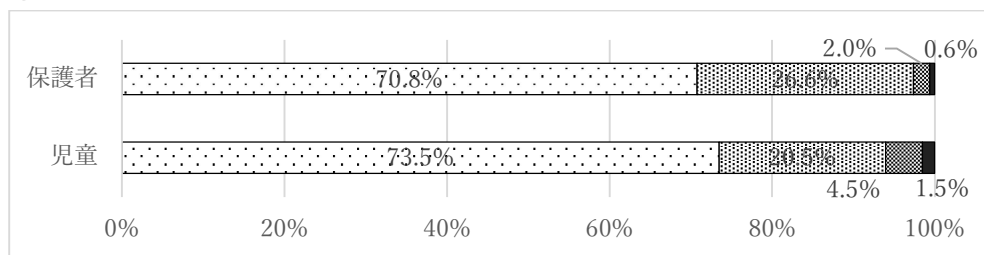
### 1 学校が楽しい

⑬ 先生は、授業が楽しく分かりやすくなるよう工夫してくれます。



目標:93%  
現状:97.1%  
+4.1ポイント  
前期比  
-0.5ポイント

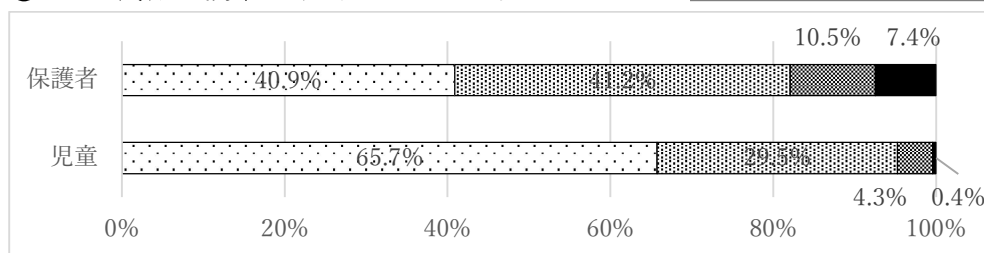
⑭ 岩松小は、安心して過ごせる学校です。



目標:93%  
現状:97.4%  
+4.4ポイント  
前期比  
-1.0ポイント

### 2 ICTを使った授業は楽しい

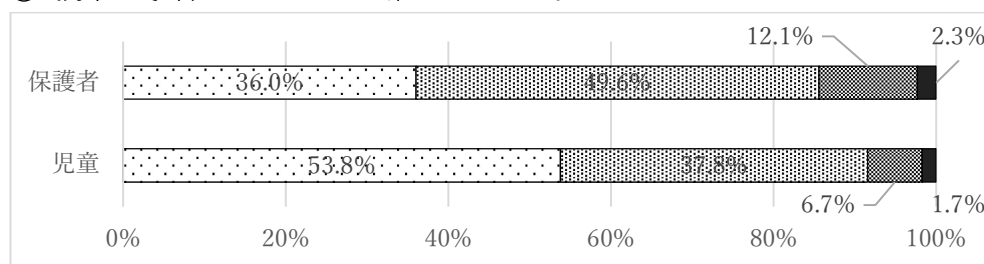
⑮ ICT機器を授業で活用しています。



目標:95%  
現状:88.7%  
-6.3ポイント  
前期比  
-1.0ポイント

### 3 学習したことを理解している

⑯ 授業で学習したことを理解しています。

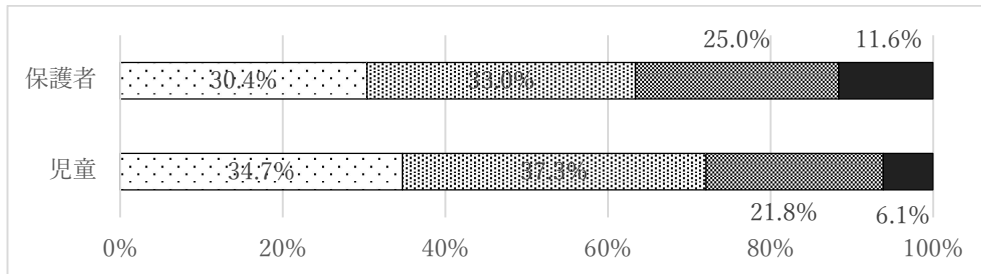


目標:93%  
現状:88.6%  
-4.4ポイント  
前期比  
-1.3ポイント

授業におけるICTの活用や個別最適化を踏まえた授業改善、家庭における学習の見取りと励まし等が相乗効果を生み、学習への理解が深まっています。また、それを児童が自覚することで、「授業が楽しい」「学校が好きだ」という評価につながったと考えられます。

#### 4 本に親しんでいる

④ 本に親しみ、学校図書館をよく利用しています。



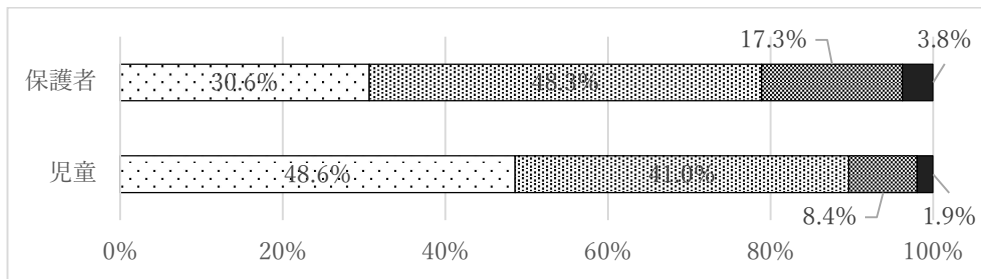
**かんぱり  
ましょう**

目標:87%  
現状:67.7%  
-19.3ポイント  
前期比  
-17ポイント

前回と比べて、最も大きくポイントを下げた項目となりました。学校図書館の利用については、4月から7月までは1日当たりの平均貸し出し冊数が約235冊だったのが、10月は158冊まで落ちました。これは、10月に入ると熱中症の危険が低くなり、運動場を利用できる日が増えたことで、休み時間の利用者が減ったと考えられます。11月には読書旬間の影響で233冊まで回復しましたが、12月は194冊に留まりました。「これまでに比べて、図書館に行っていないな。」という思いから、前期3%だった「どちらかといえばそう思わない」が21.8%に増えたため、「思う」のポイントが下がったと考えられます。また、ふじ電子図書館のサービスがGIGAタブレットからも利用可能となり、本に親しむ環境が変化してきていることも一因と考えられます。学級単位で図書館を利用したり、委員会での呼びかけを行ったりして、これからも本に親しむ環境を整えていきます。

#### 5 進んであいさつができる

⑨ 進んであいさつをしたり、正しい言葉遣いをしたりすることができています。

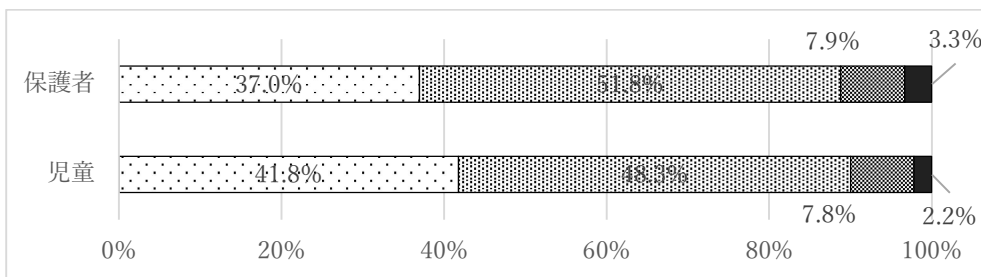


**もうすこし  
かんぱり  
ましょう**

目標:93%  
現状:84.3%  
-8.7ポイント  
前期比  
-1.5ポイント

#### 6 重点目標を目指して頑張っている

① 岩松小の目標「自分で考え みんなとチャレンジ」を目指して頑張っています。



**もうすこし  
かんぱり  
ましょう**

目標:92%  
現状:88.6%  
-3.4ポイント  
前期比  
-1.6ポイント

気持ちの良い挨拶や正しい言葉遣い、自己判断と協働、どちらも学校生活のみならず、より良い人間形成にとって大切なことと考えます。児童が自信をもって「そう思う」と言えるよう、教職員も様々なチャレンジをしていきます。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## 令和4年度学校評価アンケート(後期)で寄せられたご意見について

富士市立岩松小学校

### 〔健康・安全について〕

- 以前、熱中症のような症状で早退したことがありました。普段水筒にはお茶を入れているので、そのようなときはスポーツドリンクなどを少しでも飲ませていただくと安心です。

◇ 大量の汗をかくようなときには、水分の他に塩分の補給も必要とされます。そういう意味では、スポーツドリンクには塩分に加え適量の糖分が含まれるため、吸収がよくなるとされています。ただし、多くのスポーツドリンクは酸性で、かなりの量の糖分が含まれる(※)ため、虫歯や肥満、血糖値上昇等のリスクがあります。また、スポーツドリンクには、運動中や運動直後の水分補給向きのハイポトニックタイプ、日常生活の水分補給向きのアイソトニックタイプがあるため、目的に応じた選択が必要です。さらに、水筒によってはスポーツドリンクを入れられないものもありますのでご注意ください。保健室では、熱中症の症状がみられる場合、経口補水液を与えています。脱水が起きている児童は良く飲みますが、そうでない場合は、美味しくないので飲まないこともあります。経口補水液は、一般的なスポーツドリンクに比べて電解質濃度が高く、糖質濃度が低い特徴があり、熱中症や脱水症の治療に用いられます。

「児童の熱中症予防のための飲み物」としては、水または白湯、麦茶等がお勧めのことです。ただし、何でも「がぶ飲み」すると体内の電解質バランスが崩れ、脱水症状につながることもあるそうです。水分補給では、何を飲むかより飲み方が大事なのだそうです。

PS	33.5g (スティックシュガー約11本分)
AE	23.5g (スティックシュガー約8本分)
DK	23.0g (スティックシュガー約8本分)
AL	27.5g (スティックシュガー約9本分)

※参考「ペットボトル(500ml)1本に含まれる糖の量」

- 下校の通学路の危険個所の見直しや検討を行っていただきたい。

◇ 通学路の点検、危険個所の見直しには、保護者の皆様のご協力が不可欠です。通学路は、学校だけで決めた訳ではなく、保護者(PTA)の意見をもとに登下校中の安全を考慮して決定したものです。見直し、検討が必要な場合には、町内のPTA理事にご相談ください。また、道路の危険個所については、富士市「市民通報システム」をご活用ください。

<https://www.city.fuji.shizuoka.jp/shisei/c1911/rn2ola000002q54e.html>

- 分散登校の件ですが、一人で下校することが多くなってしまい防犯上心配がある。

◇ コロナ禍における密を避けるために、これまで分散登・下校を行ってきました。昨今の状況を考え、分散の必要はないものと判断し、令和5年度より分散登・下校は廃止いたします。ご協力ありがとうございました。

### 〔学校生活について〕

- 様々な場面で考える力が身につけてきています。なんでも挑戦してみようという姿が見られ、また、最後までやり通そうと頑張る気持ちが育ってきたように思います。
- 次の学年を見通して張り切る姿がありますが、頑張りすぎて疲労感がひどいときがあり、もう少し肩の力を抜いて過ごせる場に学校がなったら嬉しいです。
- 私服が汚れて帰宅することが多いため、体育に限らず図工や習字など、以前のように着替えがあると家庭は助かります。

◇ 体育のある日には、体操服に着替えるようお願いしています。体育の時間が終われば、いわゆる私服に着替える児童もいますが、休み時間のことを考えて体操服のまま帰りまで過ごす児童も居ます。習字のときには、服の上から着るエプロンの様なものを着る児童もいます。図工や習字など、汚れる可能性があるときには、事前に予定を伝える際に、汚れても困らないよう服装についても考えてくるよう伝えていきます。ご家庭でも、学習内容に合わせて、服装等の対応をしていただけたらと思います。

### 〔行事・特別活動について〕

- 以前行っていた学校行事が無くなり物足りない、さびしく感じています。できる範囲で縮小でも良いので無くさないでもらいたいと感じます。
- 修学旅行を開催してくださりありがとうございました。とても良い経験ができたと思います。
- マラソン大会やなわとび、体育祭、遠足など、集団の行事を復活してください。

◇ コロナ禍の学校行事については、児童にとっての価値を考え、時期や場所、実施方法等複数の案を用意して、状況によって第2案、第3案と検討・修正して、実施、延期、中止等の判断をしてきました。新型コロナウイルス感染症の扱いが変わっても、ウィズコロナの時代においては、以前のような行事を以前と同じように行うことは難しいと考えます。先日配布いたしました年間行事予定表（案）にも、遠足、運動会の文字はありませんが、以前は無かった出前授業や〇〇教室、校外学習など、子どもたちが楽しみにしていることはたくさんあります。時代と共に、時期や場所、実施方法、名称等が変わっても、私たちが行事を計画する上で、実施する意味や目的、児童の成長や幸せを願う気持ちは、今も昔も変わりません。

- バスケットクラブを作ってほしいです。

◇ クラブ活動は、「学年や学級の所属を離れ、主として第4学年以上の同好の児童をもって組織するクラブにおいて、異年齢集団の交流を深め、共通の興味・関心を追求する活動を行うこと。」（小学校学習指導要領）となっており、教師だけで決定するものではありません。子どもたちの思いをもとに、施設や場所、児童の希望人数、クラブを担当する教員の人数などを考慮して決定しています。令和4年度においては、体育館の大規模改修が行われたため、長期間、体育館での活動ができませんでした。そのため、体育館以外での活動が難しいバスケットボールクラブ、バドミントンクラブは、組織できませんでした。令和5年度、児童の希望が多く、活動が可能で異学年集団が組織できればバスケットボールクラブが作られます。

### 【家庭・学校の連携について】

- 1か月の予定表を早く配布してください。

◇ 主な行事予定につきましては、年度当初に配付します「年間行事予定」、月末または月始めに配付します「学校だより」「学年だより」等でご確認ください。急な予定変更があるときには、「ライデン」「マチコミ」等でお知らせする場合があります。

- タブレットを通して授業を受けさせていただき、ありがとうございました。黒板が映らない、声が聞こえない等、リモートの子ども同士チャットのやり取りがありました。ミュートを外しても中々声が届かず、先生や学校のお友達に気付いてもらえてないことがあるようでした。時々リモートの生徒も気にしてチャット等も見て頂けるとありがたいと思います。

◇ コロナ禍における GIGA スクール構想の前倒しにより、タブレット端末の一人一台配置が急遽実施されたおかげで、リモートによる授業への参加も可能な状況となりました。しかしながら、教室もタブレット端末やアプリケーションも、リモート授業を目的として用意されたものではないため、互いに思うようにいかない場面もあったかと思えます。実際にリモート授業を体験し、不具合があれば改善していき、より有意義に活用していければ良いと考えます。

- 同じ園から小学校へ行く友達がおらず、不安がっていましたが、毎日楽しく学校へ通うことができているのは先生方のおかげです。
- 学校の様子を伝えてくれるお手紙を配付して下さるので、有難く思っています。
- 担任のまめな連絡や配慮のおかげでほとんど安心してしています。学習面では、学校だけでは足りないと思うので、学研や塾を利用して復習を中心に取り組んでいます。キラリのおかげで助かっています。
- 学校内のトラブルも話してくれるので、先生に相談させてもらっています。先生方は解決に向けて動いてくださるので、感謝しています。子どもを安心して預けられるよう、今後もよろしく願います。
- 担任の先生と楽しくお話したり過ごしたりする様子をよく子どもが聞かせてくれるので、安心しています。担任の先生のことを信用していて、とっても感謝しています。
- 担任はとても子どものことを理解して対応してくれています。学年が変わったときも、次の担任がしっかり理解して対応していただけたら嬉しいです。

◇ 年度の切り替え時には、お子様についての情報を引き継ぎます。今後も保護者の皆様の信頼を得られるよう、職員一同努めてまいります。また、お子様のことで心配なことや相談事がありましたら、令和5年度も「教育相談日」を設けておりますので、ご活用ください。些細なことでも、気になることがありましたら、いつでもご相談ください。

### 【その他】

- 砂利の駐車場についてのマナーを守っていない人が多いです。2台分にまたがって停めている人、空いている駐車場のところに立って子どもに手を振っていたり、他の人としゃべっていたりする人等。許可証を持っている人、放デイの方たちが止められない時があるので、もう一度取り締まってほしいです。

- 駐車場にひかれた線（ひも）が分かりにくくて、孫をお迎えに来られた高齢の方が駐車するのに大変そうなのを見たことがあります。雨の日など、私自身も見えづらいつと感じたことがあります。
- 駐車場が空くのを待っている車の列が道路まで続いていて、近隣の方の迷惑になっていないか心配でした。安全面で不安になりました。学校と地域のつながりの面でも、お迎えの時間だけでもまちセンの駐車場などどこか設けていただけると安心です。

◇ 基本的に徒歩での登下校をお願いしています。体調や通院等の諸事情により、送るまでの送迎をされることもあると思います。  
学校南側の砂利の駐車場をお使いいただいておりますが、広い場所ではありませんので、ルールやマナーを守ってお使いいただくようお願いいたします。  
まちづくりセンター、郵便局、近隣の商店等への駐車はご遠慮ください。

- 的当て板の横にある木にボールが挟まり、それを取ろうと道路に向かって石を投げ、一つが我が家の太陽光屋根にぶつかりました。車も停めてありますし、通行人にぶつかっても危ないと子どもたちに注意しました。一人の親が謝罪に来てくれましたが、ボールだけでなく石も飛んでくるのでは落ち着きません。隣の家の畑にもボールが入ります。あの的当て板への配慮をお願いします。

◇ 岩松小学校の投てき板は、鉄筋コンクリート造りの立派な投てき板です。「昭和 51 年度卒業記念」と書かれた石のプレートの上には、「ボールが外へ飛び出すあそびはやめましょう」という看板が取り付けられています。投てき板の使い方について、全校で改めて確認し、安全判断、善悪の判断ができるよう、学校でも引き続き指導していきます。子どもたちの気になる行動については、その場で声を掛けていただけたらと思います。

- すぐ出せるように「健康チェックカードは、横断バッグに入れてくる」と指示されているようです。荷物が少なく、すべてがランドセルに収まる日でも、別に横断バッグに入れて持って行っていますが、それにより転倒が増え、また転倒したときに手が出ず顔等をけがする児童も見受けられます。まだ体も小さく転倒してしまう機会も多くあるかと思しますので、なるべくランドセルに荷物をおさめ、両手が使える状態で登校できるよう工夫をお願いします。

◇ 「健康チェックカードを、すぐ出せるよう横断バッグに入れてきなさい。」という指示があったとしたら、それは間違っています。申し訳ありませんでした。児童の登下校中の安全を考えると、両手が開いた状態の方が当然安全です。岩松小学校では、家で必要となるもの以外は、学校で保管するようにしています。ランドセル一つで荷物が収まってしまいうようでしたら、無理にサブバッグを持つ必要はありません。

学校評価アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。いただいたご意見を真摯に受け止め、来年度の学校運営に役立ててまいります。今後も岩松小学校の教育活動に、ご理解とご協力をお願いいたします。